

1月に開催された国際宝飾展IJT2024(主催:RX JAPAN)の来場者数は4日間で21,412名と発表があった。

本来知りたいのは来場者の内訳だろう。海外では来場者のカウントはデジタル化され、誰がどのホールに何回入場したかなど詳細が分かるようになってきている。しかもコロナ以前、相当昔から出展社ニーズに依って、会場構成などに活かされている。これは国際見本市として他国との競争にも繋がる大事なデータであるはずだ。

また、IJTの位置づけは変わりつつある。7月にBtoC向けのジュエリーフェスが昨年より開始されたことからわかるように、国内の宝飾小売店がメインターゲットではなくなった。来場者は中国をはじめとした海外バイヤーと他業種からのバイヤーだ。出展社はインバウンドやライブ販売を獲得しに商品を揃えるほか、相変わらず中古品に群がる人が目立ち、国内宝飾小売店との商談は激減傾向にある。

それが“宝飾市場の現実”になるのだろうが、出展社からの要望や来場者からの希望が聞こえてこないのが日本の宝飾産業であり、一丸となれない悪循環だ。その理由は、次世代を育てなかった高齢世代、先代を超えられない中間世代、視野の狭い若手世代による不完全な継承をはじめ、時代に合わない流通、ブランドに頼る販売で育たない日本のジュエリー文化とものづく

りと人材、そして積極的な活性化戦略が生まれにくいネガティブな思考が充満した環境など思い当たる節は出せば切りがない。それよりも注視したいのは“宝飾市場の現実”で、

来場しているアジア各国のバイヤーやハンドメイド作家だけではなく、積極的に次世代ジュエリーを提案する新規参入企業と個人の動向を知ることではないだろうか。BtoC向けの展示会に批判が出たのはいいが、結局BtoBで業界を持ち直そうとする動きは見られなかった。

生き残りが掛かった変革の時代の中で苦しいのは皆同じだが、他業種に比べれば恵まれている産業であるにも関わらず、グループ内でも共有されない情報があるなど、淘汰されることへの恐れで前に進んでいない。本来はそうならないための組合や組織であるはずだが、どの組織も若返りと継承ができていなかったことで力を失い、復活に動き出せているのは数少ない組織だけだ。

そんな環境の中で、流れている情報は狭いエリアに限られた既存の売れ筋商品や企業の動向。しかも新しい情報を拒絶する傾向が強い。移り変わりを読み取る力が弱すぎ、これまで入ってこられなかった新規参入企業が増え、新しい事業などで利益を徐々に取られ始めていくことも鈍感になっている。これまで交わることのなかった中古を扱う業者とも今後はライバルになっていくことも考えられる。どこの産業でもリサイクルやアップサ

イクルなどを時代に合わせて取り入れるほか、新業態などを加えて本業の発展を伸ばしている企業が多い中で、宝飾業界からは他を否定する声ばかりが目立ち、前向きさが欠けている。もう宝飾専門店だけが宝石を売る時代ではなく、積極的に消費者に喜ばれる日本らしいジュエリーを発信してもらいたい。

頑張る人や努力する人がいないわけではないが、保守的すぎる。いまは新規参入企業や個人が業界を変えていきそうな動きが多くあり、あまり業界には反映されていないことが懸念される。もう団体で課題に本気で向き合うのは無理だという意見も多い。誰に聞いても企業同志での協力はあり得ないと感じているようだ。そんな悲しい歴史を背負うのなら、同じ考えを持つ者同士で新たな集合体を集うなど前向きに動いた方が楽しいに違いない。ネガティブに自然淘汰されるのを待つ者と足並みを揃えても大きな徳はない。

ジュエリーは売れないのではない。ジュエリーを求める若者がいないのではない。自分の売っている商品に自信を持ってない、愛のない業界人が多いだけで、どンドン若者にジュエリーを売ろうとする新規企業と個人は増えている。

そろそろ自然と大きく世代が入れ替わることだろう。何をやるにしても協力者は多い方がいい。業界を背負う世代は積極的に協力し合い、先代は次世代の育成に力を注ぎ、さらに下の世代に継承していくべきだ。これからは前向きに動く人との取り組みを仲間と共に増やしていく時代だ。



No.2 「ジュエリーと人のあいだに」

加工機器メーカーで広報をしている加藤と申します。ご縁あって大好きな機械や工具やジュエリーについて書かせて頂いています。読んで下さった方にも少しでも機械や工具について親近感や興味を持って頂けたらうれしいです！

今回は、近年特に変化が著しい3DCAD関連技術についてご紹介いたします。金1gの価格が11000円を超え、地金以外にも研磨材や消耗材などあらゆる特資材が値上がりし、大変な状況が続いていますが、そんな中でも機械や技術は確実に進化しています。CADや造形機の導入やさらなる活用を検討している方にとって、ご参考になれば幸いです。

2.サブスクのソフトウェアの登場 従来のジュエリー用ソフトウェアに加え、近年は、サブスクリプション利用が可能なものが登場し、ソフトウェア導入のハードルも大幅に下がりました。個人・学生・スタートアップ企業に対して無償で提供されているソフトがあったり、Windowsにも3Dモデルを確認すべき課題は残りますが、「とりあえず

1.光造形機の低価格化 ここ2~3年で光造形機は低価格化を遂げ、白黒4Kモデルで3万円程度から、8K以上のモデルでも7~8万円程度から購入可能になりました。ジュエリー制作においては、精度、キャストのクオリティ、ゴム型制作可否などクリアすべき課題は残りますが、「とりあえず

3Dデータがダウンロードできるサイトも登場するなど、誰でも気軽に3Dデータを扱える環境が整ってきています。

3. 3Dスキャナーの精度向上 小さく細かい細工が多いジュエリーは3Dスキャンが困難でしたが、スキャナー技術の進歩により高性能・低価格化が進んでジュエリー制作の現場でも実用化されています。また従来はファンシーカットや変形石の石枠製作においては、まず石の形からCADデータを作成する必要があり、採寸が難しい石は実際の枠と合わないという問題がありました。このような問題も石専用の3Dスキャナーの登場によりデータ制作の精度が向上し、解決しつつあります。

この他にも生成AIによるデザイン作成の支援などが登場しており、3DCAD関連はまだまだ今後の発展が楽しみな分野です。

書いたひと:加藤まきえ 加工機器メーカーの広報&3D技術担当。機械とジュエリーが大好き。良い機械があれば競合他社の製品も薦めてしまうため営業になれない。前職は御徒町でCAD&3Dプリンターでの原型製作をしていました

伝統文化を受け継ぎ、次代へと継承し 新たな価値を創造し続ける第一人者たち

セイコーハウス銀座ホール



セイコーハウス銀座ホール(旧和光ホール)で、4月4日~21日の期間、「工芸・Kôgeiの創造-人間国宝展-」が開催される。毎年春に開催される、6つの工芸分野の重要無形文化財保持者(人間国宝)の作品が一堂に会する今展は、今回で9回目。36名の作家の珠玉の作

品の数々が披露される注目の展示会。「人間国宝」とは「重要無形文化財保持者」の通称であり、長きにわたって工芸の技の研鑽を積む一方で、独自の作風を編み出し、その分野の第一人者となった人々の呼称。

今回は陶芸、染織、漆芸、金工、木竹工、人形の6つの工芸分野の中から36名が出品される。

CT スキャン使用 天女、花珠、鑑別書 日本真珠学術協会 〒110-0005 東京都台東区上野 5-22-1 井上ビル4F TEL:03-3836-2507 FAX:03-3836-2689

OKUSA CORPORATION LTD. ケルター 特許取得 最高品質に包まれる。 ヨーロッパの最高品質に包まれる。 マイクロメーター(分銅)の修理・調整サービス (Trade-in shop) 株式会社大日 TEL:075-212-6840 www.okusa-corp.com

Woody Bell (ウッディー ベル) 特殊な修理を得意とする ~WOODY BELL~ 東京都台東区東上野2-10-2第5政数ビル3階 TEL 03-5688-2390 http://woodybell.jp/ e-mail: woodybell12@gmail.com

長い制作活動で培われた高度な技術を用い、素材の美しさを最大限に引き出した用の美を兼ね備えた魅力溢れる作品が一堂に会す絶好の機会。日本の伝統文化を受け継ぎ、それを次代へと継承し新たな価値を創造し続けている工芸分野の第一人者たちの珠玉の作品の数々が堪能したい。

イラスト chabico 路傍のカナリア

人生雑感

◎ 学生時代から付き合いのあった二人を最近亡くした。同期の友人と一年上の先輩。共に生涯独身の人生にながしかの影を落としている。令和の現在ではシングルであることは特段のことではないだろうが昭和の時代では「みんなと一緒」の風潮ははるかに強かったから生き辛かったと思う。世間を渡る通行手形を持っていないようなもの。陰で噂の種になり、あるいはいかにも興味津々で婉曲に聞かれたりプライドが傷つくのは

高知県の歴史ある伝統や職人技術を継承 高知県の歴史ある伝統や職人技術を継承 高知県の歴史ある伝統や職人技術を継承 高知県の歴史ある伝統や職人技術を継承

お店とお客様の橋渡しができる!! 販売員さんご紹介しします! BICO・GHI株式会社 エムシージーマネキン紹介事業部 東京 TEL:03-3409-6954 札幌 TEL:011-219-0758 大阪 TEL:06-6348-1020

きつい。正面から来る生き方への批判なら受け止めようもあるが好奇の視線というのとは違う。くたがら心も萎えさせる力を持っている。萎えるというのは強い力に心が折れてしまう挫折感ではなく腰が抜けるような無力感をとまなう。だからとってどうすることもできるわけではなく、みづから気持ちを奮い立たせて無関心を装う以外になすべがない。亡くなった友人が職場でのからかいに「いや自分は結婚している」と嘘をついたとぼやいていたが、そういうところを追い込まれるのである。先輩の死を親しい人に伝えた時も「あの人居身だったよね」と言葉が返ってくると、人というのは何でもないようでもそういう風に見えるものなのだろうといささか憂鬱になった。悪気はないのだろうがどこかに好奇の口調が含まれている。人生の困難

今年第48回名作コンテスト「宝飾の部」で高知県知事賞を受賞したのは、今年で設立50周年を迎えた宝飾の老舗メーカー京屋(高知市仲田町、田邊充社長)の作品「依依恋恋(いいれんれん)」女性の一途な恋心を大振りな桃珊瑚で表現したリング(桃珊瑚:約縦38×横27mm/ダイヤ/K18/予価300万円)が輝いた。宝飾の部は、今年で設立50周年を迎えた宝飾の老舗メーカー京屋(高知市仲田町、田邊充社長)の作品「依依恋恋(いいれんれん)」女性の一途な恋心を大振りな桃珊瑚で表現したリング(桃珊瑚:約縦38×横27mm/ダイヤ/K18/予価300万円)が輝いた。宝飾の部は、今年で設立50周年を迎えた宝飾の老舗メーカー京屋(高知市仲田町、田邊充社長)の作品「依依恋恋(いいれんれん)」女性の一途な恋心を大振りな桃珊瑚で表現したリング(桃珊瑚:約縦38×横27mm/ダイヤ/K18/予価300万円)が輝いた。宝飾の部は、今年で設立50周年を迎えた宝飾の老舗メーカー京屋(高知市仲田町、田邊充社長)の作品「依依恋恋(いいれんれん)」女性の一途な恋心を大振りな桃珊瑚で表現したリング(桃珊瑚:約縦38×横27mm/ダイヤ/K18/予価300万円)が輝いた。

至福の着け心地は、大人たちの時間のために。 じっくりとただ静かに、自分だけの時間を愉しむ大人たちへ。 わずか1.00mmのムーブメントがもたらす何物にも代えがたい心地よさをその腕に。 Eco-Drive One CITIZEN BETTER STARTS NOW AR5054-51E 473,000円(税別価格 430,000円) シタズン時計株式会社 https://citizen.jp